

会報



再処理企業協議会

さいくる



2014年9月 第2号

2014年（平成26年）9月1日 発行

発行：再処理企業協議会

発行責任者：事務局長 北上 孝寿

〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駁字

弥栄平1-5 再処理企業センター

TEL (0175) 71-2487

FAX (0175) 71-2488

URL <https://www.saisyori-kigyokyogikai.jp/>



挨拶



再処理企業協議会副会長
(株)東芝 六ヶ所作業所 所長
吉本 篤史

「カモのコミュニケーション」で更なる成長を

本協議会も昨年11/27に発足して以来、早いもので1年半が経過しました。当初はよちよち歩きだった子供が、しっかりとした足取りで目標に向かって歩み始めた感があります。

本協議会は会員の皆さんの「再処理工場で求められる高い技術と品質の達成、会員企業相互のコミュニケーションの推進による円滑な活動の実現」を目標に、事務局並びに技術研修部会／広報部会の部員の方々を中心として各種教育活動並びにコミュニケーション推進活動を実施して頂き、着実に目標に向けた成果が出ているのと感じております。本協議会が更に成長し、発展するためには皆さんに本協議会の活動目標の原点に返って、地に足着いた活動を引き続きお願いしたいと思えます。

まずは「コミュニケーションの推進」ですが、本協議会の存在により各会員間のコミュニケーションもかなり活発になって来たと感じています。しかし、無事故／無災害で再処理工場の操業を目指すためには更に「コミュニケーションの質の向上」が大切だと感じています。コミュニケーションの質を上げる為には、人・組織の間に「信頼関係」が無いとできません。その信頼関係を作るには、「人・組織」の間に「安心感」が無いと駄目だと言われています。

その安心感を醸し出すには、どうしたらいいか。「この人・この組織は我々の為に必ず正しい事をしてくれる」と感じさせる様な「風土作り」が必要だという事です。もう1点の「高い技術と品質の達成」ですが、「人間は知らない事はできない」という事で各種教育の場を設け、座学やOJTに

より会員の能力向上を図っていますが、このような知識や経験をベースにした危険予知能力の向上ができたらいなと感じています。危険予知は我々各人がこれから行う作業（行動）に対して、その結果を「イメージング出来るか？」という事です。本場に「クリア」にイメージング出来る人はベテランです。「まあ、こんなもんだろうな」という人は中堅の人。「全く分からない」状態で「ハイ！」という人は新人。我々は、同じ仕事をしている中でも、これだけレベルの違う人が一緒に仕事をしている訳です。是非、この「三者三様のイメージングの差」を補う活動を行って下さい。これは日頃の現場経験や作業前の「質」の高いコミュニケーションによってこそ、皆さんのギャップを補い合えるものだと思います。

以上のお願いを纏めると、日頃から「カモのコミュニケーション」をしてくださいという事です。「カモ」というのは、正にこれから起きる事のイメージングが出来ているか、そして各自のイメージング力の差を「質」の高いコミュニケーションで埋めているか、という事です。是非「カモのコミュニケーション」で本協議会を活性化し、再処理工場の操業に向けて原燃殿をバックアップしていきましょう。





役員



再処理企業協議会 専務理事
日本原燃(株) 再処理事業部
栃木 孝夫

再処理企業協議会への想い

一昨年の11月に再処理企業協議会が設立するに当たり、事業部長より専務理事をお願いするとのお話がありました。いつも安請合いの私は「分かりました」とすぐに了解しましたが、実は企業協議会についての知識は何もありませんでした。この2年で一応の形が出来上がったことは皆様方のご努力、ご協力の賜物だと感謝しています。

入所時教育、各種講習会はほぼ軌道に乗り、特別講演会では一昨年は東工大の鈴木先生、昨年は元防衛大臣の森本先生のご講演をいただきました。また、ボーリング大会、もちつき大会等を通じ親睦を深めることができました。今年はゴルフ大会も行われることとなり、一層の盛り上がりを目指しているところです。一方で、各社の負担の課題や教育メニューの充実化等、今後改善していかねければならない課題もございます。課題を解決する為には、自由に意見を交換し合い、協力し合うことが必要です。正に再処理企業協議会の精神に関わることであり、企業協議会が今後益々発展していく上で重要であると共に私たちは必ず達成していくことができると信じています。

現在、新規制基準の適合性確認の申請中です。新基準に対処するための設備改造等の工事のほか、可搬型設備を用いた重大事故に対する訓練等も行われています。平常時における私たちの協力関係は事故時にも役に立つことと思います。とにかく、再処理工場を動かしていくためには、技術

の研鑽と皆様方との協力関係は不可欠です。

再処理企業協議会は再処理工場で仕事をする日本原燃および協力会社の自主的集まりです。技術研修部会を通じて技術の研鑽に協力し合い、広報部会を通じてコミュニケーションの円滑化を図っていくことにより、再処理工場の安全・安定運転に寄与していくことが最大の目的であると思います。企業の枠を超えて、情報の共有化を図り、一人ひとりの顔が見える形での協力関係を持つことで働きやすく、やりがいのある職場環境を作り、皆様が再処理工場で働くことに自信と誇りをもてるようにしていきたいと思えます。



第1回ゴルフ大会

7月19日（土）に会員企業相互のコミュニケーション推進を目的として、記念すべき「第1回再処理企業協議会杯ゴルフ大会」（出場者 55人）が下北スリーハンドレッドゴルフクラブにて開催されました。

結果

優勝 海老澤 雅紀殿 (テックプロジェクトサービス(株))
 準優勝 今野 博之殿 (株関電工)
 3位 菅原 晴夫殿 (株青森クリエイト)



第1回再処理企業協議会杯ゴルフ大会成績結果
 (H26年07月19日)

順位	会社名	プレイヤー名	GROSS	HDPC	NET
優勝	テックプロジェクトサービス(株)	海老澤 雅紀	93	22.8	70.2
準優勝	株関電工	今野 博之	100	27.6	72.4
3位	株青森クリエイト	菅原 晴夫	80	7.2	72.8
4位	三菱マテリアルテクノ(株)	斉藤 良紀	79	6.0	73.0
5位	株東芝	種市 勇一郎	85	12.0	73.0
6位	株東芝	高田 優一	84	10.8	73.2
7位	六ヶ所エンジニアリング(株)	附田 角栄	84	10.8	73.2
8位	株木内計測	井石 貴樹	90	16.8	73.2
9位	三菱重工(株)	萩原 義夫	83	9.6	73.4
10位	株日立製作所	芝野 芳樹	87	13.2	73.8
20位	株青森クリエイト	吉田 裕悦	91	15.6	75.4
30位	株三興	柴崎 義尚	95	16.8	78.2
40位	三菱マテリアル(株)	江平 伸幸	112	31.2	80.8
50位	株東芝	滝沢 亨	107	24.0	83.0
ブービー	日揮(株)	竹林 尚之	121	34.8	86.2

	会社名	プレイヤー名	GROSS	HDPC	NET
ベストグロス賞	日本原燃(株)	山本 幸雄	71	+3.6	74.6



ベストスコアを目指して！！



プレー中の様子

優勝者

「まさしく優勝しました。何をどう間違ってしまっただけで、後半はもう完全に状態が悪化してしまいました。正直、表彰式が終わった瞬間、優勝したという喜びよりも、悔しい気持ちでいっぱいでした。この度は「第1回再処理企業協議会杯ゴルフ大会」に参加させていただき、ありがとうございました。また、個人的にもプレー（72）は何回かありましたが、アンダー（71）は初めてです。これも皆様のおかげです。特に同僚競技者及び素敵な組合せをして頂いた幹事様ありがとうございました。」



テックプロジェクトサービス(株)
 海老澤 雅紀

ベストグロス賞

「ありがとうございます。この度は、ベストグロスを頂く事が出来ました。また、個人的にもプレー（72）は何回かありましたが、アンダー（71）は初めてです。これも皆様のおかげです。特に同僚競技者及び素敵な組合せをして頂いた幹事様ありがとうございました。」



日本原燃(株)
 山本 幸雄



第1回ダーツ大会

6月9日(月)～6月11日(水)に「各社対抗ダーツ大会」(出場 36チーム 108名)が、2会場(X11、X15)にて開催されました。

結果

チームの部：	優勝	ATSC(株)	(ATSC(株))	399点
	準優勝	チームSNK	(新日本空調(株))	384点
	3位	チームとまちゅう	byクリエイト (株)青森クリエイト	374点
個人の部：	優勝	立花 雅輝殿	(新日本空調(株))	198点
	準優勝	甲田 大星殿	(株)日立パワーソリューションズ	162点
	3位	逢坂 幸也殿	(三和テクノサービス(株))	155点

第1回ダーツ大会成績結果
(H26年06月09日～06月11日)

団体	会社名	チーム名	合計
1位	ATSC(株)	ATSC(株)	399
2位	新日本空調(株)	チームSNK	384
3位	株青森クリエイト	チームとまちゅう byクリエイト	374
4位	株日立パワーソリューションズ	カブ・ハンドパワー	358
5位	株IHI	気分はダーツマスター	341
6位	六ヶ所再処理メンテナンスサービス(株)	RRM48	337
7位	東京パワーテクノロジー(株)	TPT	323
8位	東北発電工業(株)	トウハツ	316
9位	再処理機器(株)	Yang-RECO	315
10位	日本通運(株)	TRU	302
20位	電装エンジニアリング(株)	チームKETTA	262
30位	大泉建設(株)	DAISEN	211
ブービー	美和電気工業(株)		194

個人	会社名	チーム名	合計	氏名
1位	新日本空調(株)	チームSNK	198	立花 雅輝
2位	株日立パワーソリューションズ	カブ・ハンドパワー	162	甲田 大星
3位	三和テクノサービス(株)	シーサー	155	逢坂 幸也



プレー中の様子



団体の部優勝

今回の、再処理企業協議会主催のイベントに初めて参加させていただきました。見事に優勝となり、弊社社員も応援に駆けつけ、皆で楽しむことが出来ました。このようなイベントは、各社と交流を図る意味で大切な機会だと思います。また参加させて戴きたいと思っております。



ATSC(株)
橋本 綾香

個人の部優勝

毎日のお仕事ご苦労様です。この度の再処理企業協議会主催のダーツ大会、とても楽しませて頂きました。ダーツについては、何年か前にBARで遊んだのが最後で、今回のダーツ大会出場に少々不安はありましたが、運も空調も味方して見事に個人優勝できました。引き続き、第二回〇〇大会、第三回〇〇大会の開催を期待し、また、各企業での親睦を深める良いきっかけになればと思います。楽しかったです。ありがとうございました。



新日本空調(株)
立花 雅輝

趣味に没頭中！

株式会社木内計測
井石貴樹

転勤してはや11年が過ぎ、今はすっかり四季折々の季節感をたっぷり味わえるここ青森県に馴染んで生活しております木内計測井石と申します。



転勤前は特に趣味もなくどう生活しようと考えていたところ、着任してまもなくある方に「ゴルフやらない？」とお誘いをいただいたのがきっかけで、今では自然を満喫しながらの「ゴルフ」に没頭している「おっさん」です。平日は出張不在が多いですが、休日は極力ゴルフ場であちこち散歩していますので、気軽にお声掛け下さい。

では次は、ゴルフ仲間の新日本空調の野元さんをお願いします。

鉄道雑学

株式会社 アトックス
大澤 幸

（株）アトックス六ヶ所事業所の大澤と申します。今回は鉄道に係る雑学を一つご紹介いたします。



東海道・山陽新幹線を走る「ドクターイエロー」はテレビにも出たりするのでご存知の方もいるかと思いますが、この車両は「新幹線電気軌道総合試験車」と呼ばれる新幹線の設備を検査する為の車両でJR東海とJR西日本が所有しています。

では東北新幹線等を運行するJR東日本はというと・・・やはり同じような車両があります。

「イースト・アイ」と呼ばれていますが、ミニ新幹線区間も走行できるように秋田新幹線の「E3系こまち」の車両をベースにしています。運が良ければ見ることが出来るかもしれません。

次はむつ小川原原燃興産の小田さん、よろしくお願いします。

さいくるLOOP

企業の壁を乗り越えた人と人のつながり「輪」を紹介するページです。次はあなたかも・・・

八甲田スノー トレッキング

日本原燃株式会社
岡田 智博

再処理工場運営管理部生産管理課の岡田です。青森県の厳しい冬を体感できるスノートレッキングを紹介いたします。



スノートレッキングとは、スノーシューという新雪を歩くための道具を使って、雪山を登山または散策することです。私の場合は例年、八甲田の谷地温泉から酸ヶ湯温泉までの冬季閉鎖未除雪区間のうち、谷地温泉-猿倉温泉コースや、葛温泉周辺の沼を巡るコースでスノートレッキングしています。新雪いっぱいの雪原をラッセル（深い雪を開き進むこと）するのは過酷ですが、目的地に到着した瞬間の達成感は、最高です。特に、積雪の少ない県外出身の方には、楽しい冬遊びの思い出にいかがでしょうか。

次は、家族ぐるみでお付き合いしている色黒の先輩、共用施設部 ユーティリティ課の工藤副長をお願いします。

ゴルフ同好会

むつ小川原原燃興産株式会社
秋田谷 秀行

私がゴルフを始めたのは3年前になります。きっかけは、「社内にゴルフ同好会を作らないか」という同僚からの誘いでした。同好会を作り、ゴルフを始めると意外に面白く、昨年は年間20ラウンドするくらい、どっぷりとはまってしまいました。同好会では週一回の練習と年4回のコンペを開催しています。同好会での活動により、普段職場では話をする機会がない方と親しくなったり、役職に関係なくゴルフの話で会話が弾んだり、ゴルフをエンジョイしています。スコアはまだですが、これからもゴルフを続けられるように、家庭も大事にしたいと思います。



次は太平電業株今井さん、よろしくお願いします。



山口 善洋
夜
花火大会



大内 博史
鐵の鳥
今年はヤマセほっかり

岡田 昇
故郷の阿波踊り
踊り好きの娘と踊りたいが娘が踊ってくれるか？



渡辺 暁
夜
気分爽快！！



森川 一郎
祭り
東北の夏祭り満喫！！



岡本 陽一
ビール
超ギンギンに冷えたビールで
キュ〜ッ！！ フハア〜ッ！！



岸 優貴
キャンプに海水浴
今年度もマナーを守りつつ
同級生と大騒ぎしたい！！



山野 佑也
甲子園
頑張れ高校球児

「夏といえど・・・」

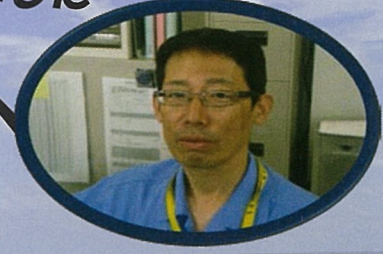
さいくる
de
Talk



三菱重工(株)六ヶ所作業所のみなさんに聞きました



馬越 英三
熱中症
熱中症に注意する



三代 勇
ソーメン
揖保の糸

柴野 実
夏休み
家族と実家に帰って、海水浴と釣りでクタクタになるぞ！



上村 重樹
汗
クーラーの効いた部屋で
じっとしときたい！！



石崎 恵理子
短い
短い夏をどう楽しむか！

牛島 浩
海
花火大会、海水浴、
BBQと行事満載で
夏満喫！



再処理企業協議会 ホームページのご紹介！！



再処理企業協議会 会員サイト

本サイトは、再処理企業協議会 会員専用サイトです。



◇年間行事スケジュール

◇主な実施行事の記録

組織
概要・沿革
組織図
企業一覧

主な活動
合同部会
広報部会

関連資料
保安教育スケジュール
シャトルバス運行表
生活関連施設連絡先

入所時教育
お申込の流れ
予約状況(ご予約はこちらから)
入所時教育実施について
入所時教育テキスト(PDF)
入所時教育実施要領
様式1:入所時教育受講申請書(EXCEL)

アクセス
地図
館内案内

◇日本原燃各部のご案内
(規程類の改正情報等)

行事のお知らせ

【9月】

- ◆ 見学会(次世代エネルギーパーク)
- ◆ かわら版発行 9月25日

【10月】

- ◆ 見学会(次世代エネルギーパーク)
- ◆ ボウリング大会 10月25日
- ◆ 第10回勉強会
(プロセス教育)



【11月】

- ◆ 講演会
- ◆ 第11回勉強会
- ◆ かわら版発行 11月25日

ホームページアドレス

<https://www.saisyori-kigyogyogikai.jp/>

電話 0175-71-2487 平日10時～16時

FAX 0175-71-2488

表紙について



日本建設工業(株)
渡部 孝一

りんご

春には白い花を咲かせ、山並みの冠雪とのコントラストが印象的です。
また、桜や桃の花が加わると、桃源郷の様相を醸し出しているように思われます。

「りんごのふるさと」は北国の町・・・という歌が好きです。古い歌ですが、大間を舞台にしたドラマでこの歌を聞いた時はほのぼのとした気持ちになりました。

明治時代に数多くの品種が育てられ、7つの代表品種があったようですが、それ以降、「国光」、「紅玉」と変わり、現在は、「つがる」、「ふじ」が主力品種だそうです。

つがる市には樹齢130年を超える「日本最古のりんごの木」があります。りんごの実はこぶし大で小ぶりなものです。残念ながら食べたことはありません。機会があれば訪れてみては如何でしょうか。
「一日一個のりんごは医者を選ばせる」と言うことわざもあります。りんごポリフェノールの影響でしょうか？いずれにしても日々、自分の体をいたわり、元気で安全作業に努めましょう。

編集後記

再処理企業協議会が発足して1年10ヶ月が過ぎました。ここに会報第2号を発行することができたことを大変うれしく思っています。ある記事に「編集後記」とは、編集者として、情緒的に自分たちの思いを書く、読者が広報を身近なものに感じる欄であるとの記載がありました。今回の編集後記では、会報にもっと親近感をもってもらうために、会報編集員や新企画の紹介、記事への思いを書いてみました。表紙の写真は、日本建設工業の渡部氏が撮ったもので、渡部氏の写真集の中から、広報部員全員で数枚を厳選し、更にその中から皆で悩みぬいた末に決めました。

会報の新企画は、「会員の輪」と「企業紹介」です。どちらもシリーズで会員のメッセージと顔写真を掲載していくものです。新企画は、若くてチームのムードメーカーである太平電業の今井氏のアイデアです。

大盛況だった新会員交流活動のダーツ大会とゴルフ大会の記事は、東京エネシスの佐竹氏。行事予定やポータルサイトの紹介記事は、クリハラントの渋谷氏がうまくまとめてくれました。

これらの記事がきっかけで、会員の皆様どうしがお互いを身近に感じていただき、更なる会員交流の推進につながって行ければ幸いです。本号の編集にあたり、編集員一同はじめ原稿作成にご尽力いただきました方々に心からお礼を申しあげます。また、会員の皆様には、健康に留意され、今後ともご支援の程よろしくお願い致します。

最後に、秋は実りの秋と言います。春に蒔いた種が芽を出し実をつける季節です。春に始まった新規基準対応も必ずや芽を出し、再処理操業という大きな実をつけてくれるものをお願いしております。



平成26年9月1日
再処理企業協議会
事務局長 孝寿